

令和2年度 第2回富田林市指定管理者選定委員会 会議録要旨

◆日 時:令和2年8月6日(13:30~17:00)

◆場 所:富田林市役所 3階 庁議室

◆委 員:別紙のとおり

事務局(行政管理課)… 阪谷、上條、北村、井上、南野

施設担当課(地域福祉課)

指定管理者(社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会、ケアセンター管理運営共同事業体)

発言者	概 要
事務局	<p>1. 事務局より当委員会についての説明</p> <p>◆今回の委員会の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林市立コミュニティセンター、富田林市立総合福祉会館、富田林市ケアセンター3施設の委員会評価について
事務局	<p>◆第1回委員会における評価結果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林市農業公園⇒63.8点 →委員会講評案の修正提案なし。
事務局	<p>◆評価手順について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の平均点をもって評価点とする旨と、実施内容が提案基準を満たしていると判断した場合の評価は10段階のうち7とする旨を確認。
<p>これより議事進行が委員長に移る</p>	
委員長	<p>2. 指定管理業務評価について</p> <p>◆富田林市立コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林市立コミュニティセンターの評価報告に入ります前に、指定管理者の社会福祉法人富田林市社会福祉協議会さんより、令和元年度指定管理業務報告の総括をお願いします。
指定管理者	<p>～指定管理者(社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会)による業務総括～</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林市立コミュニティセンターの業務評価について、1区切り目の評価報告をお願いします。
地域福祉課	<p>～評価報告1区切り目(基本方針など、行動規範)～</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・只今の内容について、ご意見、ご質問は。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営の基本方針を周知するため、LINEワークスを活用しているとのことだが、具体的

	には。
地域福祉課	➡主にスケジュールの共有と業務連絡の手段として使用しており、管理運営の基本方針についても業務連絡の都度、方針を伝えています。
委員	・個人情報保護について、パソコンセキュリティー保守管理にて実施しているとのことであるが、具体的には。
地域福祉課	➡主にパスワード管理のことです。
委員	・パスワードは、どのように設定しているのか。地位によって、パスワードを変えて、どんな情報にアクセスできるかが変わってくるというイメージか。
指定管理者	➡職制及び会計担当などについては、別のセキュリティーを設け、会計を触れる職員に関しては、特に限定を厳しくしています。
委員長	・個人情報を外部漏出させない体制として、ハード的なシステムの対策は講じられているが、一方で個人の意識・行動が伴わないと漏洩の危険性が出てくる可能性がある。そのようなきめ細かいところまで対策などを講じられているのか。
地域福祉課	➡コンプライアンス研修は、主に個人情報保護について学習し、その中でデータの安全管理や保有個人データの開示方法などを細かく指導しています。
委員長	・頭で理解することと、実際にやってみるとでは、かなり意識の差がある。できれば、1人1人がきちんと学んだことを実行できるような、もう一歩踏み込んだ研修についても検討いただければと思います。
委員	・地域交流については、具体的にどういったコンセプトで地域への働きかけや動きをし、その結果、この取材に結びついたというものはあるのか。
指定管理者	➡大阪大谷大学との連携について、幼児教育学部の先生とご縁があり、こういったコンセプトでこちらの複数施設を利用したい、そして、学生の方にご協力いただけないかと相談を投げかけ、交流の機会に結びつきました。また、逆に大学からは、地域貢献という大学側からの依頼をお預かりし、企画内容を学生と一緒に詰める機会を設けることができました。
委員	・成果が上がっている話なので、ぜひ実施計画書に具体的に取り組む方針や活動を落とし込む方がいいのではないかと。それに基づいて動いた結果、この成果に至ったという方が、具体的な動きが分かりやすくなる。
地域福祉課	～評価報告2区切り目(利用者促進・利用者満足度の向上、自主事業)～
委員長	・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。
委員	・利用者意見の把握について、立ち上げられているホームページを拝見し、どういう形で意見が言えるのかを確認したが、お問い合わせ先に電話番号だけが載せられており、入力フォームがなかったと思われる。目安箱やアンケートを実施して利用者意見の把握に努められているが、情報化時代ということもあるので、ホームページ上で直接書き込みなどができるよう工夫されてはどうか。
指定管理者	➡ホームページは昨年度立ち上げ、試行錯誤しながら、少しずつ改善している状況ですので、前向きに検討し、できる限り対応させていただきたい。

委員	<p>・苦情報告の関係で対応が十分でないところもあったとあるが、どういった苦情に対して、どのように対応したのかを、もう少し具体的に教えていただければと思います。</p>
指定管理者	<p>➡靴をなくされた方がおり、館内はスリッパに履きかえるシステムになっていますが、地下の入口と1階の入口の2ヶ所から入れるようになっており、報告書の中には具体的に載せていないが、その方が地下から入られたのか、1階から入られたのかが定かではなく、その時に靴を結局見つけることができなかった。実際には、靴箱ではないところにあったが、その時に、利用者に対しての対応が速やかではなかったのかなという報告をしています。</p>
委員長	<p>・富田林市立コミュニティセンターの一つの大きな目標に、世代間交流がありますが、若い方とお年を召した方が同じ時間に利用することによって何か交流が生まれている、あるいは、交流の仕掛け作りをやられているのか、世代間交流に特化して教えていただきたい。</p>
指定管理者	<p>➡ほっとひろばさんが利用される場所が和室であり、特に、年配の方々が囲碁・将棋を打つ場所になっているが、ほっとひろばさんにいらっしゃる子供さんと一緒に囲碁・将棋を打つ機会・光景を見ます。ほっとひろばさんの職員の方々からも、こういう光景を見るのがスタッフとしても嬉しいと好評いただいております。</p>
委員	<p>・自主事業について、計画では親子ふれあい体操20組が毎月目標として掲げられており、それに対する参加者数が5組や2組と、非常に少ない参加者数となっている。取り組み自体に何か問題があったり、ニーズが無くなっているのかどうか、その辺りの判断はどうか。また、貸館利用者数が未達に終わったことに関しての原因は分析されているのか。</p>
地域福祉課	<p>➡自主事業の担当課評価については、当初の計画ではなかった事業も複数実施しており、それらの総数で人数を超えているという評価をしています。ご指摘の親子ふれあいに関しては、人数が目標に到達しなかったというところで反省点がいくつかあり、教室に参加された方から、1回の参加費が少し高いといった理由や、休みの日に開催するというので、親子で触れ合うというよりは、親側も育児から少し離れて、子どもを遊ばせたいという声がありましたので、その辺りを考慮し、来年は参加費を下げた実施したり、親子ふれあい体操というネーミングを、大学生と触れ合うというように変えて実施する計画を立てております。貸館利用者数の未達に関しましては、減少はしているものの新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、昨年度の実績を参考に3月分を試算しますとほぼ横ばいの状態です。ただ、講座室3に関して、去年と同じぐらいの利用ではあるが、目標値に到達しなかった理由まで分析ができていないので、今後アンケートなどを実施して、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>・利用者意見の把握について、定期的に行われている連絡協議会との交流会の意見内容は、事業報告書の苦情・要望など報告書の中に含まれているのか。含まれていないのであれば、交流会での主な意見を紹介いただきたい。</p>
地域福祉課	<p>➡交流会は7月に実施し、そこで出たご意見は苦情要望等報告書には載せていません。交流会では、要望が2点出ており、カラオケのマイクを最新のものに買い替えてほしい、利用料金を下げてほしい、ということであったが、カラオケのマイクに関しては、市の備品となっており、故障などをしない限り、買い替えることはできないとお答えさせていただき、利用料金は市の条例で定められており、市と協議しなければならぬので、すぐには対応できないとお答えしています。</p>

委員長	・先ほどネーミングを変えるという話がありましたが、ある地域ではいきいき体操というネーミングで教室を開催していたが、いきいきという名前がつくだけで、高齢者向けだと思われてしまう人たちが多数いたので、エイジレスフィットネスという名称に変えて教室を開催すると、若い方も参加されるようになった事例があった。誰が参加してもいい講座や教室をたくさん開催されていると思いますので、積極的に世代間が混じり合えるような講座や教室のネーミングを考えていただければと思います。
地域福祉課	～評価報告3区切り目(収支計画)～
委員長	・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。
委員	・収支報告書の租税公課費について、税額変更ということで、決算額が約43万円増額しており、また、収入に関しても法人より繰入金ということで税額変更による補填という形で、2ヶ所税額変更という言葉が出てきているが、具体的な内容は。
地域福祉課	➡消費税のことになり、コミュニティセンターの収益の指数も含め、社会福祉協議会の法人全体で消費税の計算をすることになっており、最終按分で税額が決まり、その加減で全体の事業の絡みもあって計画通りにならなかったということです。
委員	・按分の仕方が変わったとイメージすればいいか。
地域福祉課	➡そのとおりです。
委員	・収支報告書の水道光熱費について、決算額が予算額に対して、約265万円減少となっており、3月の新型コロナウイルス感染症の影響と、自主的に節減されたということであるが、月割りで考えると落ち幅が非常に大きいですが、その他に取組まれたことはあるのか。
地域福祉課	➡第3期指定管理期間までコミュニティセンターの施設内でデイサービス事業をしており、水道光熱費については、デイサービス事業と指定管理事業で分けて請求があればよかったのですが、まとめて請求されていたため、それらを按分する際、指定管理料の按分を少し高めに設定してしまったこともあり、当初提案額及び計画額が大きくなっていました。しかし、実際には、デイサービス事業を廃止し、指定管理事業のみで約900万円に収まったことと、新型コロナウイルス感染症の影響で浴場が稼働していなかったこともあり、決算額が減少したということです。
委員	・収支報告書の自主事業経費について、計画額から決算額が大幅に減少しており、ニーズによる計画変更のためとあるが、具体的には。
地域福祉課	➡当初計画で予定していた通所A事業から、いこか事業に計画変更したことにより、乖離が生じました。
委員	・収支費目に、この部分の金額が上乘せされている形なのか。
地域福祉課	➡そういう訳ではなく、自主事業の中身を変更したことによるものです。当初計画で予定していた通所A事業は、介護保険に定められた事業のため、当然ながら介護報酬が発生します。それでいくと、収入も多くあり、逆に支出の面でも経費が膨らむことになります。計画変更によって実施した、いこか事業であれば介護報酬などはなく、人件費なども浮き、支出が抑えられたということになります。

地域福祉課	～評価報告4区切り目(人員配置計画、人材育成の考え方及び研修計画、危機管理策、日常の安全管理)～
委員長	・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。
委員	・危機管理策について、自己評価シートにて気象状況などに留意して、対策・対応を実施したとあるが、特別に取組まれているようなことはあるのか。
指定管理者	➡施設の周りに、ごみ箱やベンチなどを設置している中で、特に夏の台風時期に、蓋が飛んでいく事例があったため、事前に気象状況を確認して、飛来する危険性がある物を建物内に入れておく対応をしています。
委員	・職員配置計画について、日曜日にセンター長・課長・係長などが不在で、職員3人だけの体制となっているが、曜日での利用者数・利用形態など、シフトと曜日の関係性を教えていただきたい。
指定管理者	➡日曜日については、浴場利用者数は増加するが、貸館利用者数は他の曜日に比べると減少傾向となっています。土曜日については、浴場利用者数・貸館利用者数ともに大幅に増加する傾向があり、月曜日は浴場が清掃で休止するということもあり、これらを考慮した人員配置を行っています。
委員	・研修には多く参加されて、スキルアップに向けた取り組みがなされているが、計画との対比で、人材育成計画のコンセプトに対して、少し研修内容に偏りがあると思うが、具体的にどのようなコンセプトで研修への参加などを決めているのか。
指定管理者	➡府社協で毎年開催している研修については、定員制であるため、一部参加ができず計画通りに実施ができませんでした。コンセプトについては、自主事業や企画イベントに対して、内部的な職員のレベルでできることを実践で活かせる研修へ参加をさせていました。
委員	・応募しても参加できなかったというのは、物理的な話として、仕方ないと思うが、本来であるならば、当該年度で育成しようとしていた部分が育成できていないということになるので、次年度にて実施するなどの考慮をいただきたい。
委員長	・接遇研修などは他でも開催されているので、そちらで参加したり、他の指定管理者と合同研修をするなどの工夫をすれば、社会福祉協議会だけでない研修のあり方を考えられると思います。
地域福祉課	～評価報告5区切り目(その他)～
委員長	・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。
委員	・世代間交流に資する催しとは、具体的には。
地域福祉課	➡世代間交流のイベントとして、かがりの郷祭り・歌声喫茶・キッズプール遊び・クリスマスツリーの飾り付けのイベントなどを開催しており、歌声喫茶であれば、高齢者の方がよく利用される喫茶ルームに地元の小学生などを招いて、歌を一緒に歌い交流したり、キッズプール遊びであれば、小学生と地元の大学生が協力をして、イベントを実施しています。

委員	<p>・研修計画の話に戻りますが、組織内研修を実施していると載せられているが、どういった研修を実施されているのか。</p>
指定管理者	<p>➡内部研修については、包括支援センターと共同で事務所があるので、高齢者に対する対応として、CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)との行動研修に加え、特に分野を問わない連携ということで、各施設で発見した方々をどのような相談先へお繋ぎしていくか、というのはコミュニティセンターの職員は、有資格者ではないため、そういった研修を含めて行っています。</p>
委員長	<p>・世代間交流事業は、ストレートな従来型のものが多い印象があるので、多世代で参加できるような事業内容に工夫していただければと思います。社会福祉協議会さんが他市でも実施されている事業は、類似事業が多いので、民間やNPOで考えている事業の中にもユニークな事業があるので、情報収集しながら、多世代が混じり合える事業を、さらに積極的に行っていただければと思います。</p>
委員長	<p>・それでは、富田林市立コミュニティセンターの委員会評価の方は一括りしますが、全体の講評として、委員の皆さまから何かございますか。</p>
委員	<p>・自主事業のニーズを検討した結果、通所A事業を別の事業に計画変更したということで、残りの4年間については、通所A事業をしないと考えていいのか。元々、計画で出したことが実際に事業を行うにあたって、困難だから変更するということについて、おそらく市と相談されていると思うが、このことに関して市の大きな考え方を教えていただきたい。</p>
地域福祉課	<p>➡いこか事業を実施するにあたって、何度も話をしましたが、通所A型事業は参加者が限定されるので、限りなく近い事業で、かつ、介護保険の枠組みにとらわれない、いこか事業を実施したいという話が指定管理者側からあり、市の高齢介護課とも話をする中で、通所A事業でないことを実施することについては、特に問題がなく、この指定管理期間は、これを定着させたく、市としても認めさせていただきました。</p>
<p>≫富田林市立コミュニティセンター 評価報告終了≪</p>	
委員長 事務局	<p>◆委員会講評</p> <p>・それでは、最後に事務局より、委員会の講評をお願いします。</p> <p>➡研修について、計画的な研修の実施に努めるとともに、個人情報保護に関しても、実践も含めた対策を行うなど、効果的な研修・訓練をお願いしますというご意見がありました。また、ホームページなどで適切に利用者意見を把握できる体制を整え、世代間交流に資するものも含めた様々な地域活動を、具体的な事業計画に沿って、行っていただくとともに、世代間交流に関して、多世代が参加できるような事業の実施に向けて、情報収集を行い工夫してくださいというご意見もございました。</p>
委員長	<p>・ありがとうございました。1点付加させていただくと、委員会評価をすると課題の話ばかりが先行してしまい、中々お褒めの言葉を差し上げられないが、富田林市立コミュニティセンターについては、これまでの委員会評価の指摘を真摯に受け止めていただいてお</p>

	<p>り、より良い方向に改善いただいていると、評価していますので、その姿勢を今後も持ち続けていただき、施設の管理運営に取り組んでいただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">休憩</p> <p>◆富田林市立総合福祉会館</p>
委員長	<p>・続きまして、富田林市立総合福祉会館の評価報告に入ります前に、指定管理者の社会福祉法人富田林市社会福祉協議会さんより、令和元年度指定管理業務報告の総括をお願いします。</p>
指定管理者	<p>～指定管理者(社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会)による業務総括～</p>
委員長	<p>・富田林市立総合福祉会館の業務評価について、1区切り目の評価報告をお願いします。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告1区切り目(基本方針など、行動規範)～</p>
委員長	<p>・只今の内容について、ご質問、ご意見は。</p>
委員長	<p>・SC富田林の協賛店を募集して、会員数を増やすという試みは評価できるが、単に会員数を増やすだけではなく、総合福祉会館を拠点に様々な活動をしてこそ、初めて効果が生まれるという話になるが、その辺りの連続性について教えていただきたい。</p>
指定管理者	<p>➡大阪府の老人クラブ連合会が優待制度を設けていたが、市民が優待制度を活用しようとしても、優待を受けられる部分が少ないので、富田林市として、市外の企業にもお願いをし、69店舗の企業・事業者に協力いただいています。まだ、完全に仕上がっておらず、令和2年度内には、各老人クラブの会員に周知したいと考えています。効果については、各企業に総合福祉会館を拠点に出張・出前などをしていただき、そこに会員を招いて、人材発掘、会員数及び利用者増を目指したいと考えています。</p>
委員長	<p>・優待制度を活用すれば、お得感を得るために会員になる人は出てくるが、それは入口であり、そこから施設を利用いただいたり、活動いただくと本来の成果になる。会員数だけでなく効果は生まれてこないのか、入口からどういう展開がされているのか追跡すると、より効果がわかりやすくなるのではないかと推測しますが、ボランティア養成講座について、何か計画や実施されていることはあるのか。</p>
委員	<p>・ボランティアについては、社会のために自分の時間を使って、少しでもお手伝いできればと考えておられる方も多いのではないかと推測しますが、ボランティア養成講座について、何か計画や実施されていることはあるのか。</p>
指定管理者	<p>➡ボランティア育成として、朗読や手話講座を実施しています。災害ボランティア養成講座は、現在企画していませんが、東日本大震災の当時、災害ボランティア養成講座を実施していたこともあり、講座を受講した方々が、災害ボランティアグループという準備会を立ち上げ、災害有事の際の活動や、富田林市内の防災・減災の市民に向けた研修、学校での福祉教育の勉強会などを実施されています。</p>
委員	<p>・総合福祉会館は、富田林市社会福祉協議会さんの拠点であり、災害ボランティアにおいては、全国社会福祉協議会さんや47都道府県の繋がりを発揮できる。その観点で、広域</p>

	<p>的な災害支援や、全国規模での支え合いもできていることを、よりPRしていただくと、富田林市社会福祉協議会さんが施設の指定管理者として受けられている意味合いについてもアピールできるのではないか。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告2区切り目(利用者促進・利用者満足度の向上、自主事業)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。</p>
委員長	<p>・他市町村の社会福祉協議会さんに対して、施設での取組みアンケートを実施し、今後の施設運営に活かしていきたいとあるが、富田林市も実施してみたいと思わせるような、先進的な取組みがあれば、具体的に聞かせていただきたい。</p>
地域福祉課	<p>➡浴場利用者数減少の対策については、他市町村で、浴場と健康診断を合わせて実施することで、利用者数を伸ばす取組みを検討されています。富田林市社会福祉協議会については、地域包括支援センターの方でいきいき健診を実施していますので、それと繋げたものを企画できればと考えています。</p>
委員長	<p>・他にソフト事業での取組みはあるのか。</p>
指定管理者	<p>➡親子の福祉体験ということで、対象者のお子さんやお孫さんに来館いただいて、福祉会館の機能をおじいちゃんおばあちゃんに伝えていただく、といった取組みをされている事例があったので、次年度、計画立案を考えています。</p>
委員長	<p>・最近、受け身で講座を受講するのではなく、自分たちのやりたいことを活動するグループが増えているので、このようなアクティブシニアたちに対して、アプローチをすることで、違うタイプの人たちが関わってくれないかという思いがあるので、これまでの高齢者像を一旦リセットし、新しい高齢者像でサービス提供、施設利用を増やす方策を検討してみてもいいのではないかと。</p>
委員	<p>・総合福祉会館とコミュニティセンターは、施設の設置目的は違うが、浴場・講座室・カラオケなどを備えており、類似施設という印象も受ける。施設利用に関して、利用者の競合や重複はしているのか、それとも一定の住み分けができているのか。</p>
地域福祉課	<p>➡毎年、利用者アンケートを実施しており、総合福祉会館は徒歩や自転車で来館される方が半数以上を占めています。また、コミュニティセンターについても、地元の方を中心に利用されており、いずれの施設も地元の方に愛されている施設ということで住み分けはできていると感じています。</p>
委員	<p>・地域性で分かれているということなので、今後は地域を越えて、市内全域から来館していただけるような新しい試みについて検討いただければと思います。</p>
委員長	<p>・コミュニティセンター、総合福祉会館、ケアセンター、3ヶ所同じような施設があるが、東部・中部・西部のそれぞれの拠点として見るのか、それとも、少しずつ特徴を出しながら運営していくのか、担当課としての考えは。</p>
地域福祉課	<p>➡3施設それぞれ設置目的や利用状況なども違いますが、高齢者の状況も変わってきている中で、どう考えるかは今後の課題と考えており、現状はそれぞれの設置目的に即した施設運営を目指していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>・両方のハイブリッドでもいい。それぞれの地域拠点として同じような機能を発揮する、プラ</p>

	<p>ス個性を出していくという合わせ技でもいいと思うので、中期的に考えていただければ。</p>
委員 地域福祉課	<p>・貸館利用者数が伸びていないということだが、貸館を主に使う方はどのような層なのか。 ➡総合福祉会館は、65歳以上の高齢者の方、障がい者の方、ひとり親家庭の方、と利用条件を設けている中で、高齢者の方が多く利用いただいています。</p>
委員	<p>・貸館の利用方法については、福祉会館は電話での予約・状況確認という形で、貸館を利用する立場として、例えば、空き状況をホームページで確認できるようにするなど、貸館利用をもっとわかりやすくするような取組みがあってもいいと思うので検討いただければ。</p>
委員 地域福祉課	<p>・施設や貸し部屋の利用実績表に、その他4万3960人とあるが、これはどういった利用によるものなのか。また、ゲートボール場は利用実績が非常に少ないが、活用策として、カフェをしたり、他のスポーツをする以外に、何か検討されていることはあるのか。 ➡その他については、フリールームの人数で、貸館以外の利用人数を表しています。ゲートボール場については、ニュースポーツというものやホームカフェを試験的に始めており、今後もイベント企画を増やして、ゲートボール場が利用されるようにしていきたいと考えています。また、事務所前にゲートボール場の利用について、張り紙をしてPRはしているが、中々利用いただけないのが現状で、今後の検討課題でもあります。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告3区切り目(収支計画)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。</p>
委員 地域福祉課	<p>・光熱水費が増額した要因については、複数の条件が重なったとのことであるが、駐車場工事の際に壊れた関係で増額した分は、工事業者に責任を取ってもらうなどの対応はできなかったのか。 ➡光熱水費が増額した一番の要因は、浴場下のタイルにひび割れがあり、お風呂から水漏れが発生していたが、気づくのに時間がかかったことによるものです。ご指摘のように、工事の際、水道管が破裂したこともありましたが、すぐに復旧し、水道料金もそこまで増えていないということで工事業者には請求しませんでした。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告4区切り目(人員配置計画、人材育成の考え方及び研修計画、危機管理策、日常の安全管理)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。</p>
委員 地域福祉課	<p>・人員配置計画については、当初計画どおりとのことであるが、人件費の決算額が職員配置変更によって約220万円増額している。変更があるにも関わらず、予定どおりと報告している理由は。 ➡予定どおりの人数で配置できたということで評価しており、人件費については、当初計画を立てた段階が、富田林市社会福祉協議会さんの人事発表前で、その後、総合福祉会館に配置される職員が、ベテラン職員となったことから人件費が増額しました。指定管理者側の都合での人件費増になったので、一部を法人よりの繰入金という形で140万円ほど補</p>

	<p>填し、残りは指定管理事業で、浮いたお金で増額分を見えています。</p>
委員	<p>・危機管理策について、浴場更衣室の使い方や、囲碁将棋など、新型コロナウイルス感染症対策をどのように講じられているのか。</p>
地域福祉課	<p>➡入館時のマスク着用と手指の消毒、浴場の利用人数制限、囲碁将棋については、盤の数を減らし間隔を空けて設置するなどの対策を講じています。また、大阪府の新型コロナウイルス感染症に関する情報提供として、陽性率や三色信号を入口付近に掲示する他、1日に3度、館内利用者にマスク着用と消毒の徹底をお願いする放送を実施しています。</p>
委員	<p>・入口でスリッパに履きかえるが、その取り扱いはどうされているのか。</p>
指定管理者	<p>➡スリッパについては、委託業者に朝の掃除と夕方の掃除の際の2回、消毒をお願いしています。</p>
委員長	<p>・研修について、参加職員1名という報告が2ヶ所あり、研修をもっと多くの職員が受講した方がいいのではないと思われるが、計画があるのか、偶々1名になったのか。研修全体の方針や計画を教えてください。</p>
指定管理者	<p>➡職員が4名体制であり、複数人を外部の研修に参加させることは難しいことから、1名の職員を参加させています。ただし、他の職員も共有する必要があるので、OJT研修や報告会を実施し、内容を共有しています。</p>
委員長	<p>・例えば、メンタルヘルスは全ての人に必要な研修なので、日程や研修場所を変え、ジョブローテーションを組み合わせるなどの工夫をすれば、より多くの職員が受講できるようになるのではないかと。</p>
指定管理者	<p>➡年度内で複数回、同様の研修がある場合や、次年度に同様の研修があれば、参加していない職員に受講させるよう検討したいと思います。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告5区切り目(その他)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。⇒質疑なし。</p>
	<p>➤富田林市立総合福祉会館 評価報告終了<<</p>
委員長	<p>◆委員会講評</p>
事務局	<p>・それでは、最後に事務局より、委員会の講評をお願いします。</p> <p>➡SC富田林の活動における利用者の追跡、社会福祉協議会としての活動のPR、多様な高齢者へのアプローチ、予約方法などで利用者目線に立った貸館業務を検討することによって、施設の利用拡大を図られたいというご意見がありました。研修については、ジョブローテーションなどを用いて、職員が効率的に研修を受講できるように検討されたいというご意見もありました。また、市内の類似施設について、それぞれの特徴を活かした活用方法を検討されたいというご意見がありました。</p>
委員長	<p>・委員の皆さんから、付加的に講評としてお返しいただくことはあります。</p>
委員	<p>・浴場について、利用形態の変更を視野に入れながら、用途変更を計画していると実施計</p>

地域福祉課	<p>画書の中に記載があるが、何か工夫は考えているのか。</p> <p>➡計画当初、指定管理者から足湯にするという提案があったが検討中であり、無料の日などの方策をしているが、利用者は中々増えておらず、以前、浴場利用者も含めた利用者アンケートを実施した中で、浴場の衛生面が気になるというお声を聞いたので、備品などを入れ替え、PRしているにも関わらず、利用者は増えず、むしろ減少傾向にあります。来年度の増加策として、もう一度、浴場利用者の方にアンケートを実施し、衛生面以外に求められているものがあるのか調査する方向で検討しています。また、利用される高齢者の方からタイルの床なので転倒しないか心配だというお声があったので、滑りにくいマットに変えるなど、今後も利用者の声を聞きながら、要望に応じていくことを考えています。</p>
委員長	<p>・他市において、3ヶ所公共施設に浴場があるところは存在するのか。在るものをやめることは利用者の反発や不満が出るのは当然だが、公共施設の中に浴場を継続的に維持していく方向性がいいのか検討していただく時期ではないのか。何とか利用率を上げていこうというばかりだと、限界が来るかもしれないので、根本論を含めて、担当課も考えていただければと思います。施設の利用率向上などにばかり、目を向けてしまうと、全体像が見えづらくなってしまいますので、先ほどご指摘いただいたように、類似する3施設の全市的な役割やストーリーを検討することにより、様々な層の利用者ターゲットに繋がっていくのではないかと思いますので、大きな視点で物事を見て、今後の管理運営に活かしていく観点も必要ではないかと思います。また、多様な高齢者像を念頭に置きながら、施設利用者の利用拡大を図る仕組みやマーケティング調査を行い、今後の施設の方向性・管理運営について検討いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">休憩</p> <p>◆富田林市ケアセンター</p>
委員長	<p>・続きまして、富田林市ケアセンターの評価報告に入ります前に、指定管理者のケアセンター管理運営共同事業体さんより、令和元年度指定管理業務報告の総括をお願いします。</p>
指定管理者	<p>～指定管理者(ケアセンター管理運営共同事業体)による業務総括～</p>
委員長	<p>・それでは、まずは1区切り目の評価報告をお願いします。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告1区切り目(基本方針など、行動規範)～</p>
委員長	<p>・只今の内容について、ご質問、ご意見は。</p>
委員	<p>・管理運営については、一般財団法人富田林市福祉公社とミズノスポーツサービス株式会社が共同により運営されているが、お互いの事業や運営に関して意見を述べることができ、一体的な運営がなされているのか。また、共同運営においては、コンプライアンスや危機管理策の関係で、構成団体により温度差があることがよく見受けられるが、そのようなことはないのか。</p>
指定管理者	<p>➡ケアセンターの管理運営共同事業体として、一般財団法人富田林市福祉公社とミズノ</p>

	<p>スポーツサービス株式会社で、健康づくり世代間交流施設の管理運営について、年度協定を結んでいます。目的としては、管理運営に係る業務内容、業務執行に関する必要経費などの支払いなどについて定めています。責任の所在として、交流センターの管理運営に関しては連帯して責任を負うことを定め、ウエルネス事業については、建物及び設備に関する部分と貸館業務は一般財団法人富田林市福祉公社が、運営に関する部分はミズノスポーツサービス株式会社、責任を負うと定めています。また、その他講座については、各々の主催者が責任を負うとしています。コンプライアンスの点ですが、各々にコンプライアンス規定などがあり、健康づくり・世代交流施設については、それぞれ意見交換を行いながら、運営をどのようにしていくか連帯した検討は常に実施しています。</p>
委員長	<p>・管理区分や雇用形態も明確なところがあり、一般財団法人富田林市福祉公社さんとミズノスポーツサービス株式会社さんが役割分担し、連携を常に一定のところで図りながら、管理運営されているという理解でよろしいか。</p>
委員	<p>・地域との連携交流に関して、実施計画書に近隣小中学校の施設見学、職業体験、看護・介護の実習生の受け入れなどが記載されているが、事業報告書では具体的な内容が記載されていないので、例示していただけないか。</p>
地域福祉課	<p>➡地元小学校との交流では、向陽台小学校の生徒さんが興味のある近隣施設や場所を探検するという、まち体験授業があり、その施設の一つとして、ケアセンターを開放し、施設の見学をしていただいています。また、中学校では、職業体験の施設として、介護を体験していただけたらということで、地域貢献の観点で協力しています。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告2区切り目(利用者促進・利用者満足度の向上、自主事業)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。</p>
委員	<p>・利用者意見の把握について、適切に事業運営に反映しているという報告があるが、具体例をいくつか教えていただきたい。また、苦情対応について、報告書の中では1件のみと見受けられるが、その理解でよろしいか。</p>
地域福祉課	<p>➡利用者意見では、リスクマネジメント委員会から、老健施設で転倒・座り込み・ずり落ちが大幅に増えているのはなぜかという質問があり、センサーを設置していなかったことや、所在確認が不十分で1人でベッドに戻り、転倒を予見できなかったとお答えしています。対策としては、赤外線センサーなどへの変更、職員への周知・徹底で再発防止を図るとしています。苦情については、膨大な数になることから、市の高齢介護課に報告している苦情を載せています。</p>
指定管理者	<p>➡苦情の件ですが、入所の方は、ご自身が生活される上での不便を、職員に訴えられて、すぐに対応するというので、特に、こちらには載せていないという状況です。</p>
委員	<p>・苦情要望について、より注意しないといけないのは、ウエルネス施設を利用されている方だと思うが、その辺りの要望はなかったのか。軽微なものとして取扱いをし、載せていないということか。</p>
地域福祉課	<p>➡ウエルネス施設についても、軽微なものに関しては、委託しているミズノが窓口で即座に</p>

委員	対応しているので、こちらには載せていません。
委員	・利用促進させるためには、利用者の小さな意見をくみ上げてサービスを改善することが大切であることから、そういった視点で報告書を作成いただくといいのではないかと。
委員長	・委員会評価では、評価の妥当性を確認させていただくのですが、苦情要望などに対して、どのように聞いて対応したかという、アピールする側面での記述もいただければ、質的な向上がなされているという印象を受け取りやすいので、今後、報告書へ記載する工夫について検討いただければと思います。
委員長	・自主事業について、自主事業の成果があるが、事業内容によっては、利用実績が「0」の報告がいくつか見受けられるが、ニーズが無いものなのか、あるいはPRやアウトリーチ活動ができていないのか、分析はされているのか。
地域福祉課	➡ご指摘の件については、基本的に介護保険に当たる事業となります。一般財団法人富田林市福祉公社が介護保険の事業所として指定を受けていますが、対象者数が少なく、利用者を誘致するというよりも、元々介護保険を請求する方が少ないという状況です。
委員長	・ニーズが無いのであれば構わないが、ニーズがあるにも関わらず、その事業へ辿り着けていないとすれば、PRしていただかないといけないので、その点については、しっかりと分析されているのか。
指定管理者	➡利用実績が「0」になっているのが、育児ヘルパー事業や重度の訪問介護・同行援護という重要な事業ですが、これは市が窓口として受け付けをして対応する仕組みなので、市の方で画期的な事業を作られた中で、受け皿はしっかりと出来ているが、市民の方に周知されていなかったということが考えられます。
委員長	・せっかく、良い事業を並べているのに、利用実績が「0」であることは勿体ないので、周知し、利用者数を伸ばすことを、市と両輪となり頑張っていただければと思います。
地域福祉課	～評価報告3区切り目(収支計画)～
委員長	・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。
委員	・収支報告書の人件費について、計画額より決算額が減少しているが、これは職員が退職されたことによるものか。また、宣伝費についても、職員募集の広告費が減額となっているが、職員数の減と宣伝費の減額の関係性について教えていただきたい。
地域福祉課	➡人件費の減額については、今年度、通所の施設利用が減少したことで、臨時雇用の職員の勤務日数を2.5人分減らした差分が、決算額となります。
指定管理者	➡宣伝費についてですが、求人については、ハローワークを通じて募集する場合と、市の広報誌に掲載して募集する場合があります。改めて、宣伝費を使って募集する分については、理学療法士・作業療法士専門の求人サイトを使って募集する場合で、令和元年度は、理学療法士・作業療法士をアルバイトなど含めて、募集することがありませんでしたので、前年比「0」で報告させていただいております。
委員	・収支報告書について、今回、新型コロナウイルス感染症という特殊な事情があつて、例年と同じような利用料金収入が見込みにくい状況において、年度収支計画は、おそらく市の方と協議しながら組まれると思うが、令和2年度について、現時点ではこのように考えている

事務局	<p>というような考え方はあるのか。</p> <p>➡ケアセンターに限らず、その他の指定管理施設でも同様の状況が出ており、大阪府や近隣市町村の指定管理施設の状況など、行政としてどういったサポートができるのか情報収集している状況で、今後、何らかの対応について、指定管理者と協議しながら考えていきたいと思います。</p>
地域福祉課	<p>・富田林市ケアセンターの場合、令和元年度については、収入への影響が大きい軽度者による利用率が多くないので、新型コロナウイルス感染症の影響は最小限であったが、令和2年度については、通所の関係を含めて軽度者の割合を増やすことになる、経営に大きく響くことが考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の関係で利用が進まないのが、ウエルネス施設であり、富田林市ケアセンターは、高齢者の方の介護要望を含めた事業を展開している特殊な施設ですので、今回、6月2日から大阪府下でも1番早くトレーニングルームや、プールの衛生面対策をして再開しましたが、利用制限を設けていることもあり、影響は今後も続くと思われ。利用者の意見を聞いても、以前のように利用することはできないという声が出ているので、令和2年度の収支、特にウエルネス事業の収入は大きく落ちることになると考えております。</p>
委員長	<p>・指定管理施設全体の話になるので、それぞれの指定管理者の関係性を整理する必要があり、公的施設として、施設の休館に伴う、雇用の形態や保障も含めた指定管理の立場として、民間とも公営とも違う中で、新型コロナウイルス感染症をどう乗り越えるか、お互い情報交換しながら考えていく必要があると思います。</p>
地域福祉課	<p>～評価報告5区切り目(その他)～</p>
委員長	<p>・只今の評価報告に対して、ご意見、ご質問は。</p>
委員	<p>・外部委託した業務の点検などについてですが、指定管理者による自己評価では、業務中・業務終了時、適切に業務の点検及び評価を行っているという報告になっているが、担当課評価では、日報月報により点検評価を行っているという報告されており、相違があるが。</p>
地域福祉課	<p>➡すみません。担当課による報告書の記載内容・表現の仕方が悪かったと思います。指定管理者の自己評価に記載のとおり、業務中・業務終了後に点検・評価を適切にしていたと思います。</p>
<p>≫富田林市ケアセンター 評価報告終了≪</p>	
委員長	<p>◆委員会講評</p> <p>・それでは、最後に事務局より、委員会の講評をお願いします。</p>
事務局	<p>➡まず、老健施設・ウエルネス事業ともに、利用者意見の把握に努め、自主事業のPR・アウトリーチ活動にも努められたいというご意見がありました。また、事業報告について、地域連携・施設での苦情など、具体的に報告する工夫を施されたいというご意見もありました。</p>

<p>委員長</p>	<p>・1点付加させていただくと、富田林市ケアセンターについても、一定の水準でサービス提供していただいている施設であると評価しており、委員会評価での指摘や意見も、より良い施設に向けて、付加的なものであると認識していますので、委員会講評ではプラス評価として、取りまとめいただければと思います。冒頭、指定管理者さんからの報告の中で、民間が台頭してきており、利用者が減少しているとのことであったが、これはある意味良いことではないかと。民間が積極的にやっていた部分は、公があえて引き受ける必要はない。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響が典型例であるが、民間は水ものところがあり、ニーズや景気の動向によって、左右されることがあるので、そのセーフティーネットは、公的施設が担っていけないといけない。中期的なお話にはなるとは思います、民に委ねる部分と、公で担う部分をうまく住み分けて、連携していただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>・以上で、3館全ての委員会評価が終わりました。全体として委員の皆さんから何かご意見などはございますか。なければ、本日の案件については、終了となります。事務局より連絡事項がありますので、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">これより議事進行が事務局に移る</p>
<p>事務局</p>	<p>3. その他</p> <p>◆事務連絡</p> <p>・集計結果及び委員会講評につきましては、第3回委員会にてご覧いただき、委員の皆様にご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。第3回委員会につきましては、事前の開催通知にてお伝えしておりますが、8月18日(火)の13時30分開会を予定しており、富田林市立市民総合体育館他21施設及び富田林市立総合スポーツ公園、すばるホール、富田林市民会館の3施設の委員会評価をいただくこととなりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。それでは、これをもちまして本日の委員会を終了とさせていただきます。長時間にわたり、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>